

オーストラリアエコツーリズム認証商品の取得年別分布と宿泊施設の立地環境について

Distribution per Acquisition Year of Nature and Ecotourism Accreditation in Australia and Geographical Conditions of Accommodation Facilities

小菅 貴史* 古谷 勝則*

Takashi KOSUGE Katsunori FURUYA

Abstract: Ecotourism is a sustainable sightseeing style through natural environmental consciousness. Nature and Ecotourism Accreditation Program in Australia is highly valued globally. It is very important to understand its real situations. Studies have been already conducted with regard to its historical process and mechanisms. With ecotourism accredited products as subjects, the objective of this study is to clarify the relationship between accreditation year and geographical distribution and relationship between accommodation facilities and geographical conditions. Approximately 54% of accredited products are distributed from eastern Australia to southern Australia, in the same way as World Natural Heritage sites. The number of accredited products is steadily increasing; however, the number heavily increases after 2008. When accommodation facilities are studied according to its year of establishment and the year of accreditation, there are two distinctive groups: One group received accreditation almost simultaneously upon establishment, and the other group required a spread of 10 years or longer in between the facility establishment and accreditation. Among the 41 accommodation facilities studied, 34% are located within the protected areas, and 61% are located within one kilometer from the protected areas. In addition, the characteristics have been clearly understood from classifications of accommodation facilities according to their geographical environment.

key word : EcoCertification program, acquisition year, distribution, accommodation, site conditions

キーワード : エコツーリズム認証制度, 取得年, 分布, 宿泊施設, 立地環境

1. はじめに

エコツーリズムは、自然を対象とした観光旅行にとどまらず、自然観光資源を持続的に活用するエコツアーを実施していくための地域の仕組みを目指すものであり、自然の恵みを持続的に得てきた地域の生活習慣とも密接に結びついている。エコツーリズムは、自然環境に配慮した持続可能な観光スタイルとして日本だけでなく世界中に広く普及し始めている。日本では、平成 20 年 4 月にエコツーリズム推進法が施行され、持続可能な地域社会を作る仕組みとして期待される。しかし、エコツーリズムの商品には、ばらつきが大きく、必ずしもエコツーリズムに該当しない商品も散見される。エコツーリズムの商品選択において重要な要因は、旅行者が安心して質の高い商品を選択できる環境である。エコツーリズムの課題として 1) エコツーリズムの概念が国民やエコツーリズムを推進する団体に正しく認識・共有されていない点が問題点として挙げられる。また、2) 実施団体や関係者がエコツーリズムの概念や目標像を共有し、いかに国民に普及啓発するのか、その方法論の検討が緊急の課題である¹⁾。これらの課題を 1990 年代から対応し、すでに約 20 年の運用実績のあるエコツーリズム認証制度が、オーストラリアにある。

オーストラリアのエコツーリズム認証制度について、既往文献を整理する。Fennellら(2001)²⁾は、複数の国のケーススタディからエコツーリズムの政策や計画を整理した。その中でもオーストラリアのエコツーリズム政策や計画は洗練された仕組みと指摘している。また、エコツーリズムの用語を世界で最初に使ったと言われている Ceballos-Lascuran(1999)³⁾によれば、オーストラリアは、エコツーリズムの発展において国際的なリーダーであると述べている。これらの指摘から、オーストラリアで実施されるエコツーリズムの観光スタイルは国際的に見ても先進的である。

オーストラリアのエコツーリズムについて既往文献を見ることにする。Hall(2000)⁴⁾は、オーストラリアの観光において、国立公園の重要性を指摘している。これまでにも、オーストラリア政府

は、グレートバリアリーフ、ウルル(エアーズ・ロック)、カカドゥ国立公園などの大自然のイメージを使用して、国際観光を促進してきた。Jenkins and Wearing(2003)⁵⁾は、オーストラリアの観光開発における保護地域の重要性を述べている。特に、保護地域におけるエコツーリズムの影響の調査が少ないため、今後、エコツーリズムの計画や開発における科学的な研究が必要であると述べている。Dowling(2001)⁶⁾は、オーストラリア、ニュージーランド、南太平洋の国々の事例から、オーストラリアの観光開発は、自然環境の保護と管理が推進され、文化や地元地域の利益をも含んでいる特徴を明らかにした。これらの文献より、国立公園や自然保護地域などを把握することが、オーストラリアのエコツーリズムを理解する上で重要となる。

州別にみると、Ingram(2007)⁷⁾は西オーストラリアのケーススタディとして、保護地域の管理者の観点からエコツーリズム認証制度の発展経緯と保護地域管理との関係を書いた。西オーストラリアにエコツーリズム認証制度が紹介されて 10 年を経たが、まだ、エコツーリズムの理解が進んでいない。エコツーリズムを普及・推進するためには、ツアーオペレーターへの教育を推進すると共に、制度の仕組みにおける発生費用や監査方法の課題に取り組む必要があると指摘している。Matysek and Kriwoken(2003)⁸⁾は、タスマニアのエコツーリズムについてインタビュー調査から研究をまとめた。タスマニアにおいてもエコツーリズム認証制度は、広く知られていたが取り組みにばらつきがあることの指摘をした。エコツーリズム認証制度は、オーストラリアでは重要な制度であるが、まだ州別の取り組みにばらつきがある。

次にオーストラリアのエコツーリズム認証制度の制度について書かれている文献をレビューする。Buckley(2001)⁹⁾やIssaverdis(2001)¹⁰⁾は、エコツーリズム認証制度の制度内容の概略を紹介している。Chester and Crabtree(2002)¹¹⁾とThwaites(2007)¹²⁾は、エコツーリズム認証制度開発についての歴史や制度内容、運営組織についての政策の特徴をあげている。

*千葉大学大学院園芸学研究所

表-1 オーストラリアにおけるエコツーリズム認証商品の州別実態¹⁴⁾

| 州名 | 面積 | | 人口 | | 観光客数 | | 世界遺産数 | | 国立公園数 | | 業者数 | | 商品全体 | | | | ツアー | | | | 宿泊 | | | | アトラクション | | 商品全体のカテゴリ数 | | | 1業者当りの商品数 | | | |
|----------|------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|------|-------|-----|------|-----|-------|-----|-------|----|------|----|------|---------|-----|------------|-----|---|-----------|-----|---|---|
| | 千km ² | % | 千人 | % | 千人 | % | ヶ所 | % | ヶ所 | % | 社 | % | 商品数 | | 回答数 | | 件 | | % | | 件 | | % | | 件 | % | 件 | % | 件 | | % | 件 | % |
| | | | | | | | | | | | | | 件 | % | 件 | 回答% | 件 | % | 件 | 回答% | 件 | % | 件 | 回答% | | | | | | | | | |
| ACT | 2 | 0.0% | 344 | 1.6% | 159 | 1.9% | 0 | 0.0% | 12 | 1.3% | 1 | 0.3% | 2 | 0.2% | 2 | 100% | 0 | 0.0% | 1 | 0.8% | 1 | 100% | 1 | 2% | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2.0 | | |
| NSW | 801 | 10.4% | 6,967 | 32.6% | 2,854 | 34.6% | 6 | 26.1% | 298 | 32.5% | 44 | 12.3% | 95 | 11.5% | 28 | 29% | 67 | 10.2% | 21 | 17.5% | 9 | 43% | 7 | 14% | 11 | 11 | 23 | 2.2 | | | | | |
| NT | 1,349 | 17.5% | 220 | 1.0% | 306 | 3.7% | 2 | 8.7% | 19 | 2.1% | 30 | 8.4% | 75 | 9.1% | 28 | 37% | 65 | 9.9% | 5 | 4.2% | 2 | 40% | 5 | 10% | 6 | 10 | 14 | 2.5 | | | | | |
| QLD | 1,731 | 22.5% | 4,279 | 20.0% | 2,008 | 24.3% | 5 | 21.7% | 287 | 31.3% | 129 | 36.0% | 255 | 30.9% | 98 | 38% | 207 | 31.6% | 34 | 28.3% | 10 | 29% | 14 | 28% | 9 | 44 | 75 | 2.0 | | | | | |
| SA | 983 | 12.8% | 1,602 | 7.5% | 368 | 4.5% | 1 | 4.3% | 16 | 1.7% | 26 | 7.3% | 83 | 10.1% | 22 | 27% | 66 | 10.1% | 12 | 10.0% | 3 | 25% | 5 | 10% | 5 | 6 | 16 | 3.2 | | | | | |
| TAS | 68 | 0.9% | 496 | 2.3% | 145 | 1.8% | 2 | 8.7% | 19 | 2.1% | 16 | 4.5% | 31 | 3.8% | 14 | 45% | 21 | 3.2% | 7 | 5.8% | 5 | 71% | 3 | 6% | 1 | 6 | 9 | 1.9 | | | | | |
| VIC | 227 | 3.0% | 5,298 | 24.8% | 1,700 | 20.6% | 1 | 4.3% | 97 | 10.6% | 38 | 10.6% | 94 | 11.4% | 55 | 59% | 73 | 11.1% | 13 | 10.8% | 6 | 46% | 8 | 16% | 11 | 12 | 17 | 2.5 | | | | | |
| WA | 2,530 | 32.9% | 2,163 | 10.1% | 707 | 8.6% | 4 | 17.4% | 167 | 18.2% | 57 | 15.9% | 124 | 15.0% | 37 | 30% | 98 | 15.0% | 19 | 15.8% | 5 | 26% | 7 | 14% | 17 | 21 | 19 | 2.2 | | | | | |
| National | 0 | 0.0% | 3 | 0.0% | - | - | 2 | 8.7% | 3 | 0.3% | 17 | 4.7% | 66 | 8.0% | 5 | 8% | 58 | 8.9% | 8 | 6.7% | 0 | 0% | 0 | 0% | 6 | 5 | 7 | 3.9 | | | | | |
| 合計 | 7,692 | 100% | 21,374 | 100% | 8,247 | 100% | 23 | 100% | 918 | 100% | 358 | 100% | 825 | 100% | 289 | 35% | 655 | 100% | 120 | 100% | 41 | 34% | 50 | 100% | 66 | 115 | 181 | 2.3 | | | | | |

備考: ACT(オーストラリア首都特別特区)、NSW(ニューサウスウェールズ州)、NT(ノーザンテリトリー州)、QLD(クイーンズランド州)、SA(南オーストラリア州)、TAS(タスマニア州)、VIC(ビクトリア州)、WA(西オーストラリア州)、National(複数の州に跨る)。表中の網がけ部分は主に本文中で紹介した項目である。回答数の欄の回答率は、州別に回答数の商品数に対する割合(%)で示した。

出典: Green Travel Guide Australia(2011)Ecotourism Australia. オーストラリア概要(2009)シドニー日本商工会議所 International Visitors in Australia(2011)Australian Government, Department of Resource, Energy and Tourism, Tourism Research Australia CAPAD 2008, Australian Government Department of Sustainability, Environment, Water, Population and Communities

Issaverdis(2001)¹⁰⁾は、良質のエコツーリズムを供給するには、ビジネスの実現性と持続可能な自然保護をどう高めるかが重要であると述べている。特に、性能を向上させるための監査の必要性を指摘し、スタッフなどの教育に配慮する必要性を述べた。また、認証を受けたことを旅行者にどの様にして宣伝し、価値を伝えられるかも重要である。また Thwaites(2007)¹²⁾は、エコツーリズム認証制度を定期的に批評し、様々な関係者との評価について監視していくことの重要性も述べている。これらの研究より、エコツーリズムの質を向上させるには、定期的な監査・批評・評価が大切であり、さらにスタッフの教育や宣伝広報活動の重要性を指摘している。これらオーストラリアのエコツーリズムの認証制度や運営組織については複数の研究者が研究しているが、エコツーリズム認証商品全体の特徴を検討していない。Buckley(2003)¹³⁾は、エコツーリズム認証制度による旅行者への影響を調べるには、地域別対象商品の季節変動状況や長期での観察が必要であり、さらに地理的な影響の可能性を指摘している。

そこで、本研究では、オーストラリアのエコツーリズム認証商品を対象として①認証制度が開始した時点から現在までの認証商品数の変化の特徴を、取得年と地理的分布から明らかにした後に、②認証商品の宿泊施設を立地や周辺環境から分類し、その特徴を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

(1) 研究方法の概要

本研究では、まず、①認証商品数の特徴を、文献・資料調査、認証業者への問合せから把握した。次に、②現在の認証宿泊施設の状況を資料・空中写真から把握した後に、認証業者に直接問合せをして認証宿泊施設の特徴を把握した。これら調査結果をもとに、認証商品の増加してきた過程を明らかにし、エコツーリズム認証制度の発展過程を総合的に考察した。さらに、補足的に2010年3月3日~12日と2011年3月3日~11日までの現地調査から得られた資料や情報も参考とした。現地調査で認証商品の Green Island Resort, Skyrail Rainforest Cableway, Tour Gold Coast, O'Reilly's Rainforest Retreat, Binna Burra Mountain Lodge, Currumbin Wildlife Sanctuary, Walkabout Creek Visitor Centre に訪問した。

(2) 認証商品の分布と取得年の調査

認証商品の特性を知るため各情報から得られたデータを地図に記載しそれぞれの属性について検討した。認証商品の取得年については、オーストラリアエコツーリズム協会出版の Green Travel Guide Australia (2011) を使用した。この資料の認証取得業者の情報、商品名、商品タイプ、商品カテゴリー、商品数、住所、Web なども記載されており使用した。この記載 Web 情報を閲覧し商品内容と業者メールアドレスを確認した。商品別の取得年情報を認証業者 358 社に対して個別にメールで問い合わせをし、

全 825 件の商品のうち 289 件 (有効回答率 35%) の認証取得年を得た。本研究では、これら回答のあった認証商品のみを対象に研究を進めたため、研究の結果も回答のあった認証商品の分析である。さらに地理的な分布は、認証業者の Web から住所にアクセスし、地理的な位置を GIS にプロットした。これらから認証商品別の取得年と地理的分布から特徴を整理し考察を加えた。

(3) 宿泊施設の周辺環境調査

認証商品のタイプには、ツアー、宿泊施設、アトラクションがある。認証商品の周辺環境を調査するには、商品の位置を詳細に把握する必要があり、位置を特定しやすい宿泊施設を対象に研究を進めた。現在認証されている宿泊施設は 120 件 (2011 年) である。本研究では、メールでの個別問合せに回答のあった 41 件 (有効回答率 34%) を対象とした。宿泊施設も認証商品の分析と同じように、回答のあった宿泊施設のみの分析である。

エコツーリズム認証制度は、自然の環境にあるエコツーリズム商品について認証を行なうため、認証商品は自然との関係が深いことが考えられるが、これまでの研究で明らかにされていない。そこで認証商品の分布と取得年の調査で明らかにしたデータに加えて、宿泊施設の営業開始年、主要都市からの時間距離、施設に最も距離の近い自然保護地域の名称と距離を明らかにした。

調査は、メールによる問合せ、Web の宿泊施設の調査、Web GIS の解析により行った。Web GIS (Google Earth Pro) を使用し、宿泊施設から周辺都市への移動時間や自然保護地域への距離を計測した。

オーストラリアのエコツーリズムでは国際的な観光が盛んであり、本研究の主要都市は空港が置かれている都市とした。主要都市からの時間距離は、オーストラリアでの車での移動時間を、Web のルート検索機能を使用して求めた。施設に最も距離の近い自然保護の地域¹⁵⁾までの距離は、GIS を使って宿泊施設まで最も近い距離を測定した。測定についてはまず宿泊施設を特定し、施設を中心に最も近い自然保護地域の境界に接するまでの直線距離を Web GIS 上に測定した。

(4) 用語の定義: エコツーリズム認証制度と認証商品について

エコツーリズム認証制度とは、優良商品の差別化、業界全体のレベルの向上を目指し、1991 年に設立したオーストラリアエコツーリズム協会が運営する制度である。これらは基本的に自然地域での取り組みにおける商品 (宿泊施設、ツアー、アトラクション) を組織が定める基準項目において評価、認証を行う自然環境の保護を目的とした取り組みである。評価に関してはさらに 3 つの商品カテゴリー (ネイチャーツーリズム、エコツーリズム、アドバンスエコツーリズム) がある。この商品カテゴリーの違いは、組織が定める基準項目をどれだけクリアすることが出来たか、さらに業者会社の設備にも高い水準が求められる。その中でアドバンスエコツーリズムは、最も自然環境への配慮した商品カテゴリー

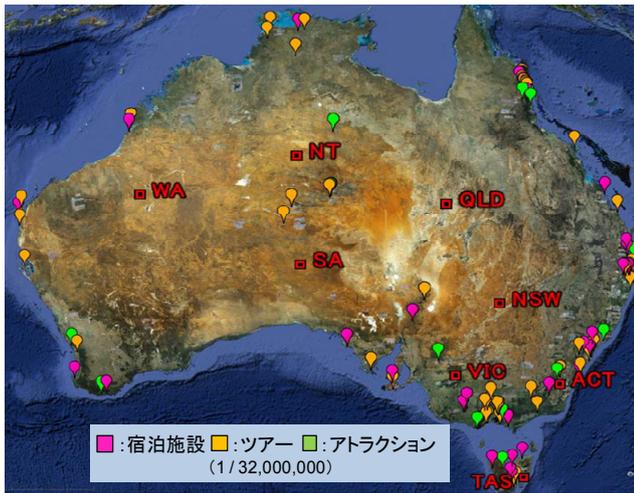


図-1 エコツーリズム認証商品の分布

として評価を受ける。また認証までの流れは、申請書に4段階の自己評価を作成し、審査を受け基準を満たしていれば認証が受けられる流れである。Tour Operatorは、エコツーリズム認証制度の実務者であり、本文中は業者と訳し使用することにした。

州別の検討の中で、複数の州に跨る National を用意したが、今回の調査では National の回答数が少ないため、参考資料にとどめた。

3. 結果と考察

(1) 認証商品全体の分布 (州別の特徴を含む)

表-1は、オーストラリアにおけるエコツーリズム認証商品の州別実態を示した。まず、州別の観光客数は、ニューサウスウェールズ州(34.6%)、クイーンズランド州(24.3%)、ビクトリア州(20.6%)の順で東部地区に集中し、3州合計で約80%になる。背景には世界遺産、国立公園が他州より多く主要都市もあり観光魅力度、宿泊・移動等での利便性が高いことがいえる¹⁶⁾。エコツーリズム認証商品の実態は、エコツーリズム認証制度で認証を受けた業者数358社、認証商品数は825件となった。認証商品数は1業者当たりの平均が2.3件であるが、調査した中では11件のツアー商品を持っていた業者がいた。州別の商品数は、クイーンズランド州255件(30.9%)、西オーストラリア州124件(15.0%)、ニューサウスウェールズ州95件(11.5%)、ビクトリア州94件(11.4%)、ノーザンテリトリー州75件(9.1%)の順に多くある。東部地区の州が54%を占めている。認証商品は、ツアー商品が655件と全体の79%を占めている。次に宿泊施設、アトラクションである。認証商品全体におけるカテゴリー数は全体で366件あり、ネイチャーツーリズム66件(18%)、エコツーリズム115件(32%)、アドバンスエコツーリズム181件(50%)の割合である。西オーストラリア州は、観光客数は707千人(8.6%)と少ないが、業者数57社(15.9%)で州別で2番目に多く、商品数124件(構成比15.1%)で2番目となっている。西オーストラリア州の認証商品は、124件中ツアー商品が98件(79%)で、全国平均の70%より少し高い。商品カテゴリーからは、アドバンスエコツーリズム比率が32.8%と、全国平均の50%より低い。また今回調べた認証商品数について限れば、タスマニアのエコツーリズムについてはMatysek and Kriwoken(2003)⁹⁾の指摘したように取り組みが進んでいない。一方、西オーストラリアについては、認証商品の認証業者数や認証商品数がクイーンズランド州に次いで多くなっている。Ingram(2007)⁷⁾は保護地域の管理者の観点から、エコツーリズムの理解が進んでいないと書いているが、認証商品数では、認証が進んでいる。

(2) 取得年別における認証商品の地域分布

表-2 認証制度の歴史から見る商品分布(289件の回答から)

| 年 | エコツーリズム認証制度に関する出来事 | 認証商品の分布 |
|------|---|---|
| 1991 | オーストラリアエコツーリズム協会(EAA)発足 →観光保護よりエコツーリズム産業の促進化 | <p>■: 宿泊施設 ■: ツアー ■: アトラクション 1991-1999(商品数28件)</p> |
| 1992 | エコツーリズム認定制度開始 (Ecotourism Accreditation Program) 地球サミット・アジェンダ21採択(リオデジネイロ) | |
| 1993 | エコツーリズム認定制度の検討 →連邦政府からの援助 ・制度化に向けた観光事業認定計画開始 ・国家のエコツーリズム計画の構築 | |
| 1996 | NEAP認定制度開始【Eco1】 (National Ecotourism Accreditation Program) →制度を実行可能な形にする基準内容の見直し実施 | |
| 1997 | 京都議定書 アジア通貨危機(金融危機、経済不振) | <p>■: 宿泊施設 ■: ツアー ■: アトラクション 2000-2005(商品数66件)</p> |
| 2000 | Nature and Ecotourism Accreditation Program 開始【Eco2】 ・新しいカテゴリー(Nature)と料金システム導入 ・エコガイド認定計画の開発 アメリカ同時多発テロ事件 | |
| 2002 | 感染症(SARS・鳥インフルエンザ等)感染拡大 シドニーオリンピック開催、国際エコツーリズム年 世界首脳会議開催「持続可能な開発に関するサミット」 世界エコツーリズムサミット開催(カナダ・ケベック) | |
| 2003 | EcoCertification Program開始【Eco3】 エコ認証制度(EcoCertification Program)改称 ・アジア地域で採用、文化保護認証 | |
| 2004 | →2004年審査条項案の開発 | <p>■: 宿泊施設 ■: ツアー ■: アトラクション 2006-2011(商品数195件)</p> |
| 2005 | →2005年オンライン申請にて認証の促進化 | |
| 2006 | 当初改訂が予定されていたが実施されなかった (03年以降ドキュメントや手続き向上により改訂されず) | |
| 2007 | 国際的なエコツーリズム基準として世界に広めている 京都議定書に批准(環境問題への新たなステップ) | |
| 2008 | リーマン・ショック(世界的な金融危機や不況) | <p>■: 宿泊施設 ■: ツアー ■: アトラクション 2006-2011(商品数195件)</p> |
| 2009 | 気候影響評価認証の開発 | |
| 2010 | 申請者費用40%の割引 | |
| 2011 | 申請者費用25%の割引 | |
| 2012 | エコツーリズム認証制度の改訂を検討【Eco4】 | |

分布の特徴: 全体的に少なからずある
分布の特徴: QLD州とVIC州で取得商品増加
分布の特徴: 全島の沿岸、中央部でも新規の取得

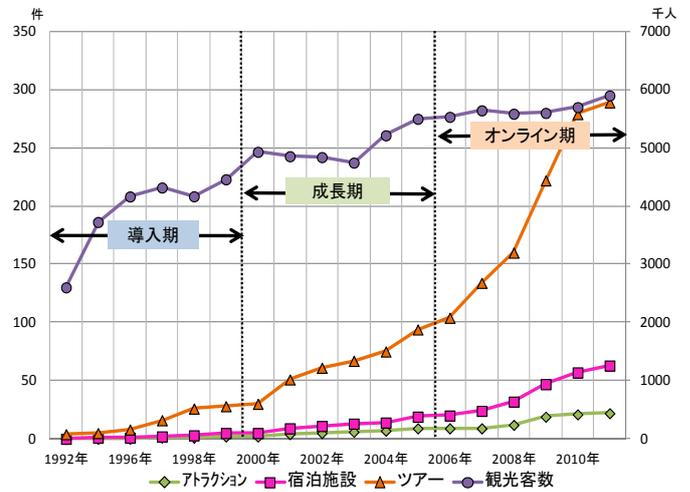


図-2 エコツーリズム認証商品数と観光客数の推移

図-1は、エコツーリズム認証商品の分布別に地図へプロットした。商品は沿岸部に多くあり、クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州の東部沿岸及び南部沿岸のオーストラリア首都特別特区、ビクトリア州を含めると54%あり、業者も59.2%と集中している。さらに、この地域には自然遺産も12件中8件が指定されており、エコツーリズム商品対象地が多く存在している。

表-2は、エコツーリズム認証制度の変遷を文献より整理した後に、認証商品を取得年別に、3つの年代に分けて商品分布をプロットした。年代区分は、エコツーリズム認証制度の改訂に注目し、エコツーリズム協会発足(1991年)から1999年を導入期とした。次に、Nature Ecotourism Accreditation Programの開

表-3 宿泊施設の立地と認証取得年

| 名前 | 行州 | 州 | 広さ (acres) | 1泊料金 (Aus\$) | 移動時間 (hours) | 主要都市 | 取得年 | 設立年 |
|---|----|-----|------------|--------------|--------------|----------------|------|---------|
| O' Relly's Rainforest | 1 | QLD | 100 | 163 | 1.5 | Gold Coast | 1995 | 1926 |
| Yelverton Brook EcoSpa Retreat & Conservation Sanctuary | 1 | WA | 100 | 275 | 0.5 | Busselton | 1999 | 1988 |
| Aquila Eco Lodges | 1 | VIC | 100 | 280 | 3 | Melbourne | 2003 | 2001 |
| Quamby Pines Chalet | 2 | TAS | 40 | 70 | 0.83 | Launceston | 2005 | 2002 |
| Great Ocean Ec lodge | 1 | VIC | 165 | 240 | 3 | Melbourne | 2005 | 2004 |
| Lane Cove River Tourist Park | 1 | NSW | - | 35 | 0.3 | Sydney | 2006 | 1971 |
| YHA Victoria [Grampians YHA Eco Hostel] | 3 | VIC | 2 | 28(4share) | 3 | Melbourne | 2007 | 2000 |
| YHA Victoria [Melbourne Metro YHA] | 3 | VIC | 0.5 | 27(8share) | 0.4 | Melbourne | 2007 | 1991 |
| Lillydale Farm Stay | 1 | QLD | - | 185 | 1.5 | Brisbane | 2008 | 2000 |
| The Mouses House | 2 | QLD | 10 | 120 | 1 | Gold Coast | 2008 | 1981 |
| Currings Farm | 2 | TAS | 750 | 200 | 1 | Hobart | 2008 | 1969 |
| Tidbinbilla | 1 | Act | - | - | 0.67 | Canberra | 2009 | 1980 |
| Pumpkin Island | 1 | QLD | 29 | 85(4share) | - | - | 2009 | 1963 |
| Corinna Wilderness Experience | 1 | TAS | 11 | 50(8share) | 3 | Devonport | 2009 | 2006 |
| Platypus Park Country Retreat | 3 | TAS | 40 | 90 | 2 | Devonport | 2009 | 1993 |
| Sangoma Retreat | 3 | NSW | 10 | 338 | 1.3 | Sydney | 2010 | 2009 |
| Arkaba Station - Wild Bush Luxury | 3 | SA | - | 593 | 4.5 | Adelaide | 2010 | 2009 |
| Tasmanian Wilderness Experiences | 1 | TAS | 101 | 36(セント) | 1 | Hobart | 2010 | 2003 |
| Eco Beach | 2 | WA | 47 | 225 | 1.5 | Broome | 2010 | 2009 |
| Sal Salis Ningaloo Reef - Wild Bush Luxury | 3 | WA | - | 365 | 2.8 | Learmonth | 2010 | 2008 |
| Bay of Plenty Lodges | 1 | NSW | 1.5 | 125 | 2.5 | Sydney | 2011 | 1940 |
| Cape Byron Trust Cottages [Thomson Cottage] | 3 | NSW | 20-60 | 375 | 1 | Gold Coast | 2011 | 1920-50 |
| Cape Byron Trust Cottages [Partridge Cottage] | 3 | NSW | 20-60 | 375 | 1 | Gold Coast | 2011 | 1950 |
| Cape Byron Trust Cottages [Imeson Cottage] | 3 | NSW | 20-60 | 375 | 1 | Gold Coast | 2011 | 1950 |
| Cape Byron Trust Cottages [Milderhall Cottage] | 3 | NSW | 20-60 | 300 | 1 | Gold Coast | 2011 | 1920-50 |
| Thala Beach Lodge | 1 | QLD | 145 | 265 | 0.3 | Port Douglas | 1998 | 1998 |
| Rose Gums Wilderness Retreat | 1 | QLD | 230 | 257 | 1.7 | Gairns | 2001 | 2001 |
| Baird Bay Ocean Eco Experience | 3 | SA | 0.5 | 130 | 8 | Port Augusta | 2001 | 2001 |
| Alpine Habitats | 2 | NSW | 40 | 200 | 2.5 | Canberra | 2007 | 2007 |
| Somewhere Unique | 3 | WA | 20 | 250 | 2 | Sydney | 2008 | 2008 |
| Somewhere Unique [Lowanna Retreat and Allawah Retreat] | 3 | NSW | 20 | 250 | 1.41 | Newcastle | 2008 | 2008 |
| Bamurru Plains - Wildbush Luxury | 3 | NT | 148,263 | 233 | 2.83 | Darwin | 2009 | 2009 |
| Mary Valley Vista | 1 | QLD | 62 | 200 | 0.83 | Sunshine Coast | 2009 | 2009 |
| Venus Bay Eco Retreat | 1 | VIC | 15 | 160 | 2.5 | Melbourne | 2009 | 2009 |
| Mt Barney Lodge Country Retreat | 2 | QLD | - | 120 | 2 | Gold Coast | 2002 | - |
| Cape Cassini Wilderness Retreat | 1 | SA | 360 | 285 | 4 | Adelaide | 2005 | - |
| YHA Victoria [Eco Beach YHA Apollo Bay] | 3 | VIC | 0.6 | 28(4share) | 2.7 | Melbourne | 2007 | - |
| Red Mill House | 1 | QLD | 1.5 | 160 | 0.75 | Port Douglas | 2008 | - |
| Kings Canyon Wilderness Lodge | 2 | NT | - | 365 | 5 | Alice Springs | 2009 | - |
| Uluramaya Retreat Cabins | 3 | QLD | 50 | 75 | 0.75 | Brisbane | 2010 | - |
| Karma Chalets | 3 | WA | - | 165 | 0.75 | Albany | 2010 | - |

注：行州表記 1:アドバンスエコツーリズム、2:エコツーリズム、3:ネイチャーエコツーリズム
 州：Act(オーストラリア首都特別特区)、NSW(ニューサウスウェールズ州)、NT(ノーザンテリトリー州)、QLD(クイーンズランド州)、SA(南オーストラリア州)、TAS(タスマニア州)、VIC(ビクトリア州)、WA(西オーストラリア州)
 表記：設立年(表示:■)と認証取得年(表示:○)、カテゴリ-[1:アドバンスエコツーリズム、2:エコツーリズム、3:ネイチャーエコツーリズム]

始した2000年から2005年を成長期とした。この年は表-2に記載した通り、2000年まで商品カテゴリーはエコツーリズムとアドバンスエコツーリズムの2つであったが、この年から新たにネイチャーエコツーリズムが加わった。さらに料金システムを見直し、年会費を含む料金は以前より安くなった。さらに販売促進においてはWeb ページ策を加えるなど大きな制度変化があったので2000年から2005年を区切りとした。さらにオンライン申請を開始した2006年から2011年をオンライン期とした。導入期では1992年にEcotourism Accreditation Programとしてエコツーリズム認証制度が発足した。1996年にNEAP認証制度(National Ecotourism Accreditation Program)として体系化された。2000年にはNature Ecotourism Accreditation Programと名称を変更し、さらに2003年にもEcoCertification Programと名称変更し、認証制度の改善し続けている。特に、2005年には、申請のオンライン化により申請者の負担を軽減し、申請がスムーズにできるよう改善した。

導入期の地理的な分布を見ると、認証商品数(28件)が少ないこともあり、全体的に散見し分布している。成長期(66件)では、クイーンズランド州(33件,50%)とビクトリア州(16件,24%)で認証商品の増加がみられる。オンライン期(195件)では、全島の沿岸、中央部でも新規での認証商品分布がみられ、認証商品の認知度の普及が推進されていることがみえる。

認証商品数の推移を図-2に示し、観光客数の推移と比較した。観光客数は、ほぼ右肩上がり前年数より増加傾向にあるが、1998年、2003年、2009年は、減少ないし横ばい減少がみられた。1998年アジア通貨危機、2003年アメリカの同時多発テロやSRAS、2009年リーマン・ショックの発生の影響が要因であり、観光客数の一時的な減少であった。認証商品の推移からは、2005年に申請のオンライン化の効果があり3商品共に増加がみられる。特に認証商品の多数を占めるツアー商品での取得数は他の2商品より大きく増加し、2008年~2010年の伸びは約3倍と急激な増

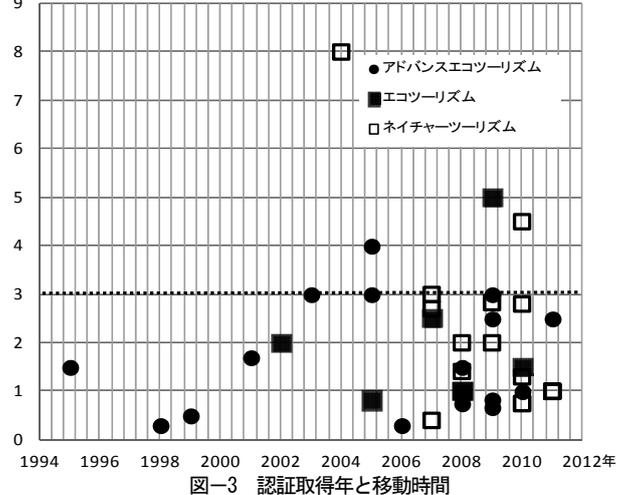


図-3 認証取得年と移動時間

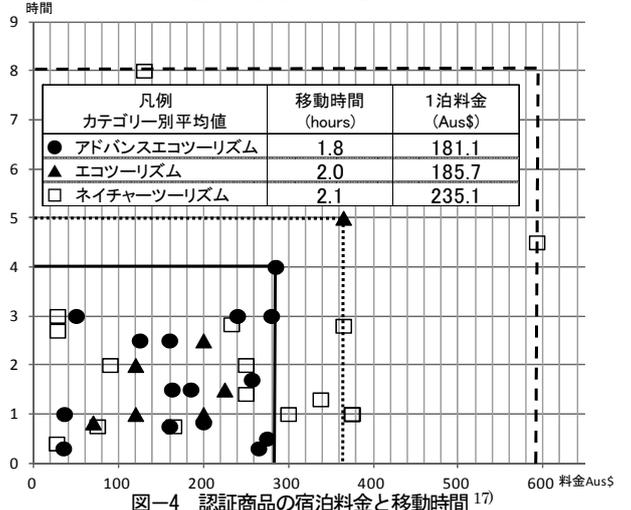


図-4 認証商品の宿泊料金と移動時間

表-4 宿泊施設に最も近い保護地域

| 宿泊施設の名前 | 州 | 取得年 | 保護地域の名称 | 区分 | 広さ (hectares) | 保護区 (内・外) | 距離 (km) | IUCNカテゴリー |
|--|-----|------|---|-----------|---------------|-----------|---------|-----------|
| O' Relly's Rainforest | QLD | 1995 | Lamington National Park | NP | 19,000 | 内 | 0.15 | II |
| Thala Beach Lodge | QLD | 1998 | Great Barrier Reef World Heritage Site | 世界遺産地域 | 34,870,000 | 外 | 0.44 | — |
| Yelverton Brook Eco Spa Retreat & Conservation Sanctuary | WA | 1999 | Yelverton National Park | NP | 1,300 | 外 | 5.9 | II |
| Baird Bay Ocean Eco Experience | SA | 2001 | Baird Bay Islands Conservation Park | 保護公園 | 11 | 外 | 4.12 | IV |
| Rose Gums Wilderness Retreat | QLD | 2001 | Gadgarra Forest Reserve(World Heritage Site) | 森林保護区 | 80,000 | 外 | 0.35 | VI |
| Mt Barney Lodge Country Retreat | QLD | 2002 | Mount Barney National Park | 国立公園 | 17,660 | 外 | 1 | II |
| Aquila Eco Lodges | VIC | 2003 | Grampians National Park | NP | 290,000 | 内 | 0.03 | II |
| Cape Cassini Wilderness Retreat | SA | 2005 | Latham Conservation Park | 保護公園 | 1,200 | 外 | 4.7 | la |
| Quamby Pines Chalet | TAS | 2005 | Black Jack Hill Forest Reserve | 森林保護区 | 650 | 外 | 2.3 | IV |
| Great Ocean Ecologe | VIC | 2005 | Great Otway National Park | NP | 870 | 外 | 0.12 | II |
| Lane Cove River Tourist Park | NSW | 2006 | Lane Cove National Park | NP | 440 | 内 | 0.2 | II |
| Alpine Habitats | NSW | 2007 | Kosciusko National Park | NP | 640,000 | 外 | 3.8 | II |
| YHA Victoria [Grampians YHA Eco Hostel] | VIC | 2007 | Grampians National Park | NP | 290,000 | 外 | 0.05 | II |
| YHA Victoria [Melbourne Metro YHA] | VIC | 2007 | Derrimut Grassland Nature Conservation Reserve | 自然保護地 | 164 | 外 | 13.7 | la |
| YHA Victoria [Eco Beach YHA Apollo Bay] | VIC | 2007 | Marengo Nature Conservation Reserve Flora Reserve | 自然・植物保護区 | 27 | 外 | 2 | la |
| Red Mill House | QLD | 2008 | Wet Tropics Of Queensland World Heritage Site | 世界遺産地域 | 894,420 | 外 | 2 | — |
| Lillydale Farm Stay | QLD | 2008 | Mount Barney National Park | NP | 23,000 | 内 | 3 | II |
| The Mouses House | QLD | 2008 | Springbrook National Park | NP | 1,900 | 外 | 0.1 | II |
| Curringa Farm | TAS | 2008 | Mount Bethune Conservation Area | 保護地域 | 324 | 外 | 5.08 | VI |
| Somewhere Unique | WA | 2008 | Corrabare state Forest | 森林公園 | 4,900 | 外 | 1.37 | VI |
| Somewhere Unique [Lowanna Retreat and Allawah Retreat] | NSW | 2008 | Corrabare State Forest | 州立森林公園 | 4,900 | 外 | 1.36 | — |
| Tidbinbilla | Act | 2009 | Tidbinbilla Nature Reserve | 自然保護区 | 5,400 | 外 | 0.35 | II |
| Kings Canyon Wilderness Lodge | NT | 2009 | Watarrka is a national park | NP | 73,000 | 内 | 0.25 | II |
| Bamuru Plains - Wildbush Luxury | NT | 2009 | Kakadu National Park (Commonwealth) | NP | 1,600,000 | 内 | 13.82 | II |
| Mary Valley Vista | QLD | 2009 | Mapleton Forest Reserve | 森林保護区 | 10,144 | 外 | 2.2 | VI |
| Pumpkin Island | QLD | 2009 | Keppel Bay Islands National Park | NP | 18,000 | 内 | 1 | II |
| Corinna Wilderness Experience | TAS | 2009 | Pieman River State Reserve | 保護区 | 3,900 | 内 | 0.12 | II |
| Platypus Park Country Retreat | TAS | 2009 | Granite Point Conservation Area | 保護地域 | 103 | 外 | 2.2 | V |
| Venus Bay Eco Retreat | VIC | 2009 | Cape Liptrap Coastal Park Other Park | その他(沿岸公園) | 1,200 | 外 | 0.48 | II |
| Sangoma Retreat | NSW | 2010 | Blue Mountains National Park | NP | 268,987 | 外 | 0.11 | II |
| Uluramaya Retreat Cabins | QLD | 2010 | Beerburum state Forest | 森林公園 | 1665 | 外 | 0.04 | VI |
| Arkaba Station - Wild Bush Luxury | SA | 2010 | Flinders Ranges National Park | NP | 100,000 | 外 | 4.95 | II |
| Tasmanian Wilderness Experiences | TAS | 2010 | Wild Bee Forest Reserve | 森林保護区 | 530 | 外 | 1.12 | IV |
| Eco Beach | WA | 2010 | Roebuck Bay Wetlands (Ramsar) | ラムサール湿地 | 34,219 | 内 | 0.25 | — |
| Karma Chalets | WA | 2010 | Mount Shadforth Nature Reserve | 自然保護区 | 84 | 外 | 1.4 | la |
| Sal Salis Ningaloo Reef - Wild Bush Luxury | WA | 2010 | Cape Range National Park | NP | 50,831 | 内 | 0.1 | II |
| Bay of Plenty Lodges | NSW | 2011 | Booderee National park | NP | 4,600 | 内 | 0.14 | II |
| Cape Byron Trust Cottages[Thomson Cottage] | NSW | 2011 | Cape Byron State Conservation Area | 保護地域 | 98 | 内 | 0.02 | VI |
| Cape Byron Trust Cottages[Partridge Cottage] | NSW | 2011 | Cape Byron State Conservation Area | 保護地域 | 98 | 内 | 0.02 | VI |
| Cape Byron Trust Cottages[Imeson Cottage] | NSW | 2011 | Cape Byron State Conservation Area | 保護地域 | 98 | 内 | 0.02 | VI |
| Cape Byron Trust Cottages[Mildenhall Cottage] | NSW | 2011 | Cape Byron State Conservation Area | 保護地域 | 98 | 内 | 0.02 | VI |

注：Act(オーストラリア首都特別特区)、NSW(ニューサウスウェールズ州)、NT(ノーザンテリトリー州)、QLD(クイーンズランド州)、SA(南オーストラリア州)、TAS(タスマニア州)、VIC(ビクトリア州)、WA(西オーストラリア州)
注：I a:厳正保護地域、II:国立公園、IV:生息地/種管理地域、V:景観保護地域/海域、VI:資源保護管理地域

を示した。

(3) 宿泊施設と立地について

宿泊施設の立地を表-3 にまとめた。宿泊施設はツアーやアトラクションと比較して場所の特定が容易であり、立地調査の対象とした。調査内容は、商品の名称、商品カテゴリー、州、宿泊施設の広さ、宿泊料金、空港のある都市への移動時間、主要都市、認証商品の取得年、施設の設立年である。

1) 認証取得年と施設設立年について

表-3 に宿泊施設の設立年(表示：■)と認証取得年(表示：○)を記載した。対象宿泊施設 41 件のうち、2005 年以前に取得した件数は 8 件(20%) で、他は 2005 年以降 33 件(80%)であった。また宿泊施設設立と同時に取得した施設は 9 件(22%)あった。宿泊施設 41 件の商品カテゴリーは、アドバンスエコツーリズム 17 件(41%)、エコツーリズム 7 件(17%)、ネイチャーツーリズム 17 件(41%)に分類された。

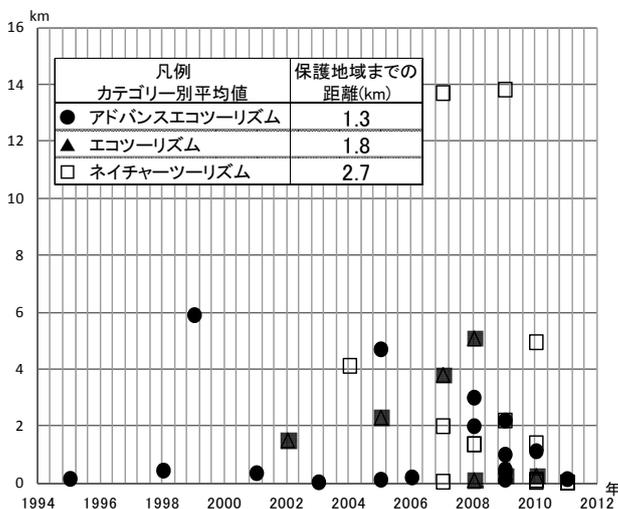
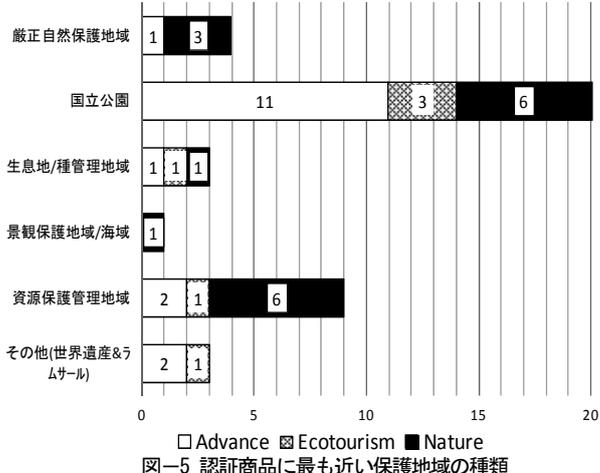
2) カテゴリー別年代分布と移動時間

図-3 から、移動時間が 3 時間以内にある宿泊施設(36 件,88%)が多く、移動時間が 1 時間以内の宿泊施設が 17 件(41%)占めていた。NEAP 認証制度開始 1996 年前後の導入期に設立されていた宿泊施設でも主要都市から 1~2 時間の移動時間の所にあった。年代別分布からは、アドバンスエコツーリズムは、導入期から取り組んでいて、ネイチャーツーリズムやエコツーリズム商品取得の多くは、2007 年~2010 年に集中していた。

3) カテゴリー別分布における宿泊料金と移動時間

全体的な料金は、キャンプ場やシェアルームで低価格の設定もあるが、およそ平均 200 ドルぐらいである。また移動時間に応じても料金価格に影響は少ない。しかし、カテゴリー別に平均した 1 泊料金、移動時間を見ると、アドバンスエコツーリズムの 1 泊料金 (181.1 Aus\$) が安く提供され、移動時間(1.8 時間)が短い傾向にある(図-4)。

(4) 宿泊施設の周辺環境



宿泊施設の周辺環境を表-4 に示した。周辺環境として、宿泊施設から保護地域まで距離、保護区分、名称、IUCN カテゴリー、広さ、保護区（内と外）をまとめた。

1) カテゴリー別保護地域区分

宿泊施設は、保護地域の内側に敷地があり建設されている場合と外側にある場合がある。回答があった 41 件の宿泊施設では内側 14 カ所 (34%)、外側 27 カ所 (66%) であった。図-5 は、保護地域を IUCN のカテゴリー別に分類し表記した。結果、宿泊施設に最も近く、多い保護地域は国立公園で 20 件 (49%) である。さらに国立公園をカテゴリー別にみるとアドバンスエコツーリズムが 11 件 (55%) であった。Hall(2000)⁹⁾が、国立公園の重要性を指摘するように、認証商品の宿泊施設においても国立公園との関係が重要と考える。

また国立公園は、生態系保護とレクリエーションを目的とした管理の両立が求められる保護地域であるため、アドバンスエコツーリズムの認証が 41% を占めている。資源保護管理地域は、自然生態系の持続的な利用を目的に管理される地域をさす。エコツーリズム認証制度のネイチャーツーリズムには、「元からある自然に手を加えず環境負荷への影響を最小限すること」の意図があり、両者は、意味には共通している部分がある。このため、資源保護管理地域でネイチャーツーリズム 17 件 (41%) と多い。

2) カテゴリー別の取得年と保護地域との距離

カテゴリー別の取得年と保護地域との距離を図-6 に示した。カテゴリー別に宿泊施設と保護地域との距離の平均で見ると、アドバンスエコツーリズム 1.3km、エコツーリズム 1.8km、ネイチャーエコツーリズム 2.7km となった。特にアドバンスエコツーリズムが保護地域との距離が近いことがいえる。取得年で見ると、2005 年時ではカテゴリー別に保護地域との距離が異なることがいえるが、2010 年時では、保護地域との距離が 2km 以下となった。

4. おわりに

旅行者が安心して質の高いエコツーリズム商品を選択できる環境が大切である。本研究ではエコツーリズム認証商品の特徴を、認証取得年と地理的分布から明らかにした。さらに、認証商品の宿泊施設において、立地や周辺環境から分類しその特徴を明らかにした。エコツーリズム認証制度は、オーストラリアの観光において、重要な制度であり、着実に成長している。実際、2005 年以降、認証商品数も確実に増加していた。しかし、今回の調査対象では、まだ州によって認証数にばらつきがあった。宿泊施設に最も近い保護地域は、回答があった 41 件の宿泊施設の 49% が国立公園であった。エコツーリズム認証商品は保護地域と密接な関係にあり、特に、国立公園との関係が大きい。エコツーリズム認証制度は、オーストラリアの自然環境を保護、維持することで観光客を呼び込むことに繋がっていると考えている。調査した認証ツアー商品も保護地域に近接する地理的分布を生かし、世界遺産や国立公園も含め観光魅力度を上げ、宿泊施設も現地宿泊や主要都市を利用した利便性を持たせた内容となっており、オーストラリア全体の分布で見ると、認証商品は東部地区に集中 (約 54%) している。今後は、良質のエコツーリズムを供給するには、ビジネスの実現性と持続可能な自然保護をどう高めるかが重要である。本研究の認証商品の研究から、基礎的データを得られたと考えている。さらに、認証を受けたことを旅行者にどの様にして宣伝し、価値を伝えられるかも重要である。

本研究では商品全体の約 3 分の 1 から有効回答を得て、回答に対して分析を加えた。今後も回答数 (サンプル数) を追加して、研究の精度を高めて行きたい。さらに商品の種類には宿泊施設の他にツアーやアトラクションもある。これらの立地環境についても、分析をしていきたい。エコツーリズム認証制度が開始して現

在までに、認証制度の改善が進み、業者・商品数共に増加している。オーストラリアのエコツーリズム認証制度がこれまで歩んできた歴史には現実的で学ぶべき点が多い制度であると考えられる。

補注及び引用文献

- 1) 環境省(2011)エコツーリズム推進方策検討会検討会提言, エコツーリズム推進方策検討会 18 pp.
- 2) D.A. Fennell, R. Buckley and D.B. Weaver(2001) : Policy and Planning : The Encyclopedia of Ecotourism, David B. Weaver, CAB International, Chapter29, 463-477
- 3) H. Ceballos-Lascurain(1999) The future of ecotourism into the millennium: an international perspective, In: Australia - The World's Natural Theme Park, Proceedings of the Ecotourism Association of Australia National Conference. Ecotourism Association of Australia and the Bureau of Tourism Research, Canberra, 1-9.
- 4) M. Hall(2000) : Tourism and the establishment of national parks in Australia Tourism and National parks Issues and Implications, Ricard W. Butler and Stephen W. Boyd, 29-37
- 5) J. Jenkins and S. Wearing(2003) : Ecotourism and Protected Area in Australia : Ecotourism Policy and Planning, David A. Fennell, Ross K. Dowling, CAB International, Chapter11, 205-233
- 6) R.K. Dowling(2001) : Oceania (Australia, New Zealand and South Pacific) : The Encyclopedia of Ecotourism, David B. Weaver, CAB International, Chapter9, 139-154
- 7) C. Ingram(2007) : Certification in protected Areas a Western Australian Case Study : Quality Assurance and Certification in Ecotourism, Rosemary Black , Alice Crabtree, CAB International, Chapter15, 266-298
- 8) K. A. Matysek, L. K. Kriwoken(2003) : The Natural State : Nature-Based Tourism and Ecotourism Accreditation in Tasmania, Australia : Journal of Quality Assurance in Hospitality & Tourism, 129-146
- 9) R. C. Buckley(2001) : Ecotourism Accreditation in Australia : Tourism ecolabelling, certification and promotion of sustainable management, Xavier Font & Ralf Buckley Chapter11, 165-173
- 10) J. P. Lssaverdis(2001) : The Pursuit of Excellence, Benchmarking, Accreditation, Best Practice and Auditing : The Encyclopedia of Ecotourism, David B. Weaver, CAB International, Chapter37, 579-591
- 11) G. Chester, A. Crabtree(2002) : Australia The Nature and Ecotourism Accreditation Program: Ecotourism & Certification Setting Standards in Practice, Martha Honey, Island Press, Chapter5, 161-185
- 12) R. Thwaites(2007) : The Australian EcoCertification Program (NEAP), Blazing a Trail for Ecotourism Certification, but Keeping on Track? : Quality Assurance and Certification in Ecotourism, Rosemary Black & Alice Crabtree, CAB International, Chapter22, 435-463
- 13) R. Buckley (2003) : Ecological Indicators of Tourist Impacts in Parks, Journal of Ecotourism , 54-66
- 14) 表-1 の網掛けは、各項目に占める割合が高い箇所と本文中の対応箇所を示した。
- 15) 自然保護地域の検索には、IUCN と UNEP-WCMC が進めている World Database on Protected Areas (WDPA)から保護地域を検索して使用した。<<http://www.protectedplanet.net/>>(2011.9 月参照)
- 16) 2011 年度現在、オーストラリアの世界遺産は 19 件で、自然遺産: 12、文化遺産: 3、複合遺産: 4 である。世界遺産地域は複数の州に跨がって登録されている場所もあるため、表-1 では州ごとに分け計算した。
- 17) 図-4 に示した直線は、各カテゴリーの時間と料金の最大箇所を線を書いた。